



宮司プレス 第百九十六号

彦島八幡宮 宮司ニユース

発行者 彦島八幡宮

宮司 柴田 宜夫

発行 令和五年 二月 十日

◇宮司の柴田です。立春を過ぎて、暦の上では、春を迎えましたが、境内を吹き抜ける風は、容赦(ようしゃ)なく体感を奪います。余寒(よかん)厳しき昨今です。過日の二月八日は、「事八日(ことようか)」という日でありましたが、御存知(ごぞんじ)でしたか。実は、正月行事が終わって、人々が日常生活に戻り、農作業を始める日とされています。この日に行われる伝統的な風習(ふうしゅう)の一つに「針供養(はりくよう)」があります。私共の御先祖様は、すべての生き物はもちろん、仕事で使う大事な道具などの物にも、命がやどる、魂がこめられていると考えて、大切に扱いました。一神教(いつしんきょう)では、ゴッドが、天地を創造(そうぞう)されますが、日本では、万物は自生(じせい)し、その一つ一つに霊(れい、アニマ)が宿(やど)ると考えました。したがって、このことを、「万物有霊論(ばんぶつうれいろん)」、あるいは、「アニミズム」といいます。日本人特有(とくゆう)の「もったいない」という、尊(とうと)い精神にもつながっていると思います。

◇春にかかる枕詞(まくらことば)の一つに、「冬(ふゆ)もり」という言葉がございます。まさしく、「事八日」を迎えるまでの正月行事、つましく静かに過ごしつつ、その年の豊作を祈る力を蓄(たくわ)える期間でもあるのです。そして、私共の「事八日」ともいうべき、一年の最初の大祭である、二月十七日の祈年祭(きねんさい)を迎えます。小学校の頃、担任の先生から、「一、三、五、七、八、十、十二、大の月、二、四、六、九、十一(さむらい)、小の月」と教(おそ)わりました。二月は、「小の月」、しかも、二十八日しかありません。しかし、前述(ぜんじゆつ)の祈年祭を始め、紀元祭(きげんさい)、さらに、天長祭(てんちようさい)と、日本国民として、おろそかにできない祭典が続くのです。

◇さて、明日は、初代神武天皇(じんむてんも)様が、橿原(かしはら)の宮にて御即位(ご即位)されましたのを紀元とする、皇紀(こうき)二千六百八十三年を迎えます。当宮でも、紀元祭を齋行(さいこう)しますし、下関奉祝会でも、奉祝パレード、さらに、市民会館にて奉祝

祭典式典が挙行(きようこう)されます。その神武天皇様の建国の詔(みことのみこと)には、「まるで家族のように温(ぬく)もりのある国家の建設」を理想とすることがのべられていました。その初代神武天皇様から、今上陛下(きんじょうへいか)まで、百二十六代、万世一系(ばんせいいつけい)の天皇陛下を仰(あお)いでいるのであります。幕末の歌人(かじん)で、「独楽吟(どくらくぎん)」という、「楽しみは」で始まる五十二首の和歌を残された、橘曙覧(たちばなのあけみ)さんは、その四十六首目に、

「楽しみは 神の御国(みくに)の 民(たみ)として 神の教(おしへ)を ふかくおもふとき」と詠(よ)まれています。その「神の教」とは、私は、日本人の美質(びしつ)であろうと考えます。一つは、前述(ぜんじゆつ)しましたとおり、万物万象(ばんぶつばんしょう)、至るところに神仏(しんぶつ)を見いだし、恐れ敬(かしこ)み、感謝(かんしゃ)の心で生活(せいか)をすることです。二つめは、弱い立場の人にも利他(りた)、思いやりの心で大切に接(せ)することです。さらに、どんな困難(くわんなん)にも、正義(せいぎ)、正直(しんじつ)、倫理(りんり)人が守るべきモラル、道徳(だうとく)でもって、乗り越えていくという気概(きがい)を持つているとではないでしょうか。明日は、神の御国の民として、厳肅(げんしゆく)に紀元祭を御奉仕(ごほうし)申し上げる所存(しよぞん)です。

◇二月の祭典行事予定（報告も含む）

▼月次祭 *二月一日、十五日

▼貴布祢神社月次祭 *二月一日

▼花手水実施 *二月三日〜十五日



▼節分祭 *二月三日



▼下関三井化学百周年記念植樹祭

*二月七日

▼紀元祭 *二月十一日

□本宮 *午前十時

□下関市建国祭 *午後二時

※奉祝パレード ↓ 彦丸広場〜夢ひろば

※祭典、式典、講演 ↓ 下関市民会館

▼祈年祭

※本宮 彦島八幡宮 *二月十七日

※六連島八幡宮 *二月二十五日

※田の首八幡宮 *二月二十七日

▼朝粥会 *二月二十一日

◇二月の宮司動静報告

▼彦島八幡宮関係団体

□彦島八幡宮リーグ役員会

*二月十三日

※彦島八幡宮杯争奪の成年ソフトボ-

ル大会、三年振りに今秋開催予定

□神道会世話人会 *二月二十六日

※家の宗旨（しゅうし）が神道の方の世

話人会、春の祖霊祭（それいさい）に
ついて協議

▼山口県神社庁関係

□下関支部幹事会 *二月六日

□下関建国奉祝会実務者会議

*二月八日

□山口県神社庁役員会 *二月十二日

□山口県神社庁支部長事務局長会議、神社

庁例会 *二月十三日

□日本会議山口後援会 *二月十八日

※作家、ジャーナリストの門田隆将氏の講

演会

□山口県青年神職会検収 *二月二十日

※当宮にて建設業者を招き地鎮祭

セミナー

ー開催

□巡回祭典後講話研修会 *二月二十一日

※宇部市、南方八幡宮にて開催

▼教誨師関係

□釈放前指導講話 *二月二十八日

※美祢社会復帰促進センター、釈放前

のセンター生への指導講話

▼学校関係、その他

□玄洋校区挨拶運動 *二月十日

□西山小学校CS *二月十日

□玄洋中CS *二月十七日

□迫町自治会役員会 *二月十五日